

平成 20 年（2008 年）の雲仙岳の火山活動

福岡管区気象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏な状況で経過しました。

2008 年の活動概況

・噴煙など表面現象の状況（図 1）

山頂付近からは白色の噴煙がごく少量出ていました。また、12 月 10 日に現地調査を行いました。噴気地帯の状況に変化はありませんでした。

・地震や微動の発生状況(表 1、図 1、図 2)

火山性地震の発生回数は少ない状態で経過しました。火山性地震の震源は主に平成新山直下に求まりました。火山性微動は発生しませんでした。

・地殻変動の状況(図 3、図 4、図 7)

GPS 観測では、各観測点間の基線長には、火山活動に起因する変化は認められませんでした。また、12 月 12 日に実施した光波測距観測でも、火山活動に起因する変化は認められませんでした。

・熱活動の状況(図 5、図 6)

12 月 10 日に実施した赤外熱映像装置¹⁾による観測では、山頂付近の表面温度はやや低下していましたが、噴気地帯の熱異常域の分布に大きな変化は認められませんでした。表面温度はやや低下しました。

1) 赤外熱映像装置 物体が放射する赤外線を感知して温度分布を測定する測器で、熱源から離れた場所から温度を測定することができる利点がありますが、大気その他の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

この資料の作成に当たっては、気象庁のデータの他、九州大学のデータを使用して作成しています。地図の作成にあたっては、国土地理院長承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ(標高)』及び『数値地図 10mメッシュ(火山標高)』を使用しています(承認番号:平 20 業使、第 385 号)。この火山活動解説資料は、気象庁ホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)、福岡管区気象台ホームページ(<http://www.fukuoka-jma.go.jp>)でも閲覧することができます。

表 1 雲仙岳 火山性地震・微動の月別発生回数

2008年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
地震回数	2	3	11	1	1	1	1	3	3	1	2	2	31
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

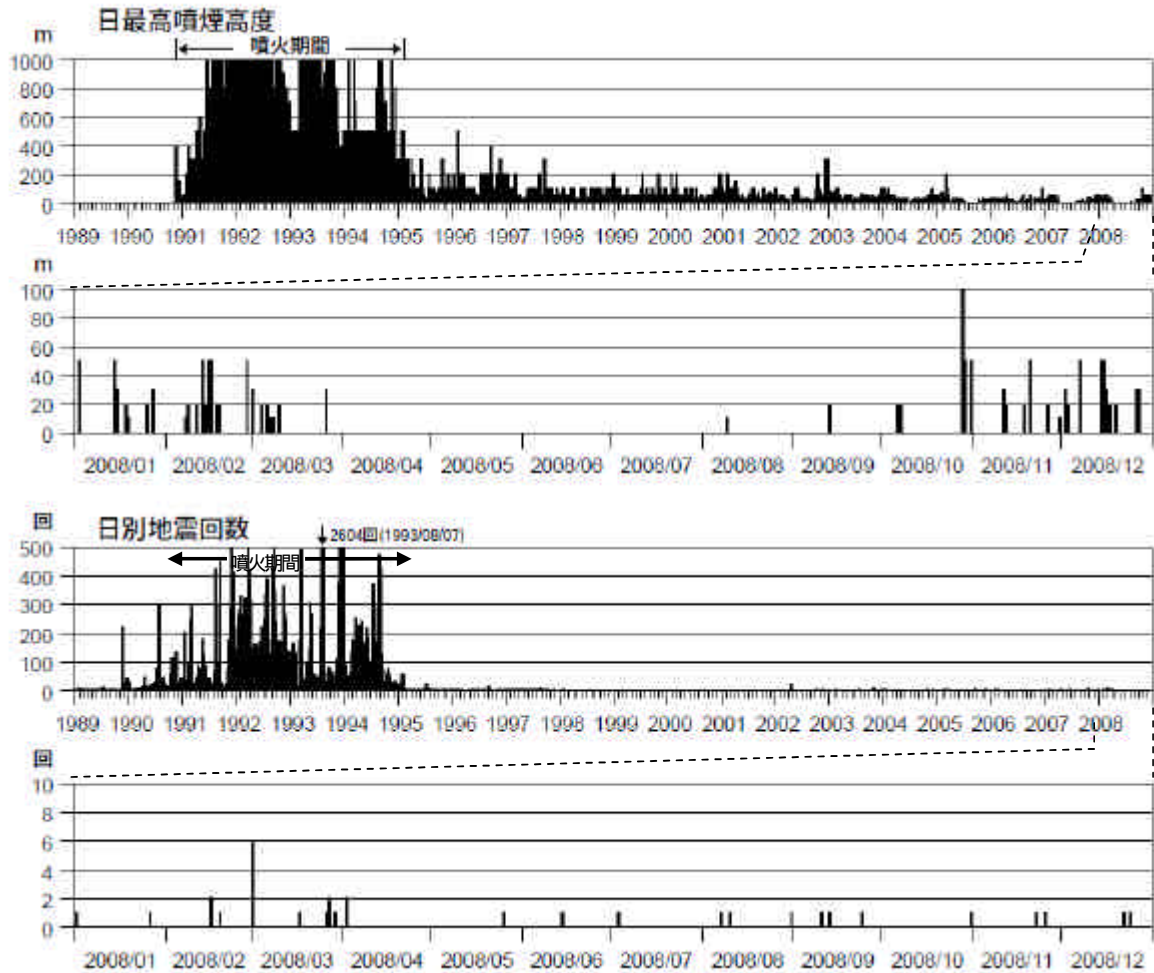


図 1 雲仙岳 火山活動経過図(1989年1月1日~2008年12月31日)

- ・2008年の噴煙活動は穏やかに経過し、期間を通して噴煙量はごく少量で、最高高度は100mでした。
- ・2008年の火山性地震の発生回数は31回(2007年40回)で、昨年と比べて大きな変化はありませんでした。
- ・火山性微動は観測されませんでした。

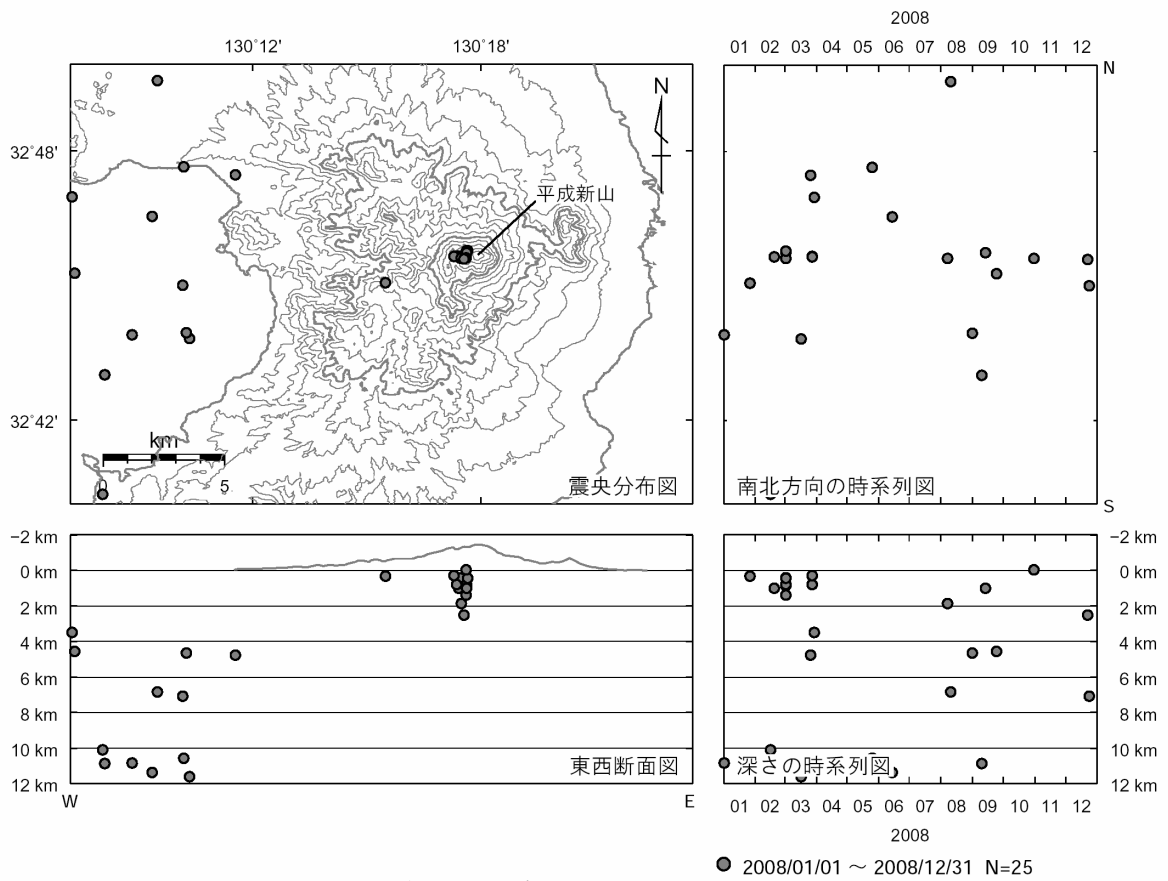


図2 雲仙岳 火山性地震の震源分布図 (2008年1月1日~12月31日)

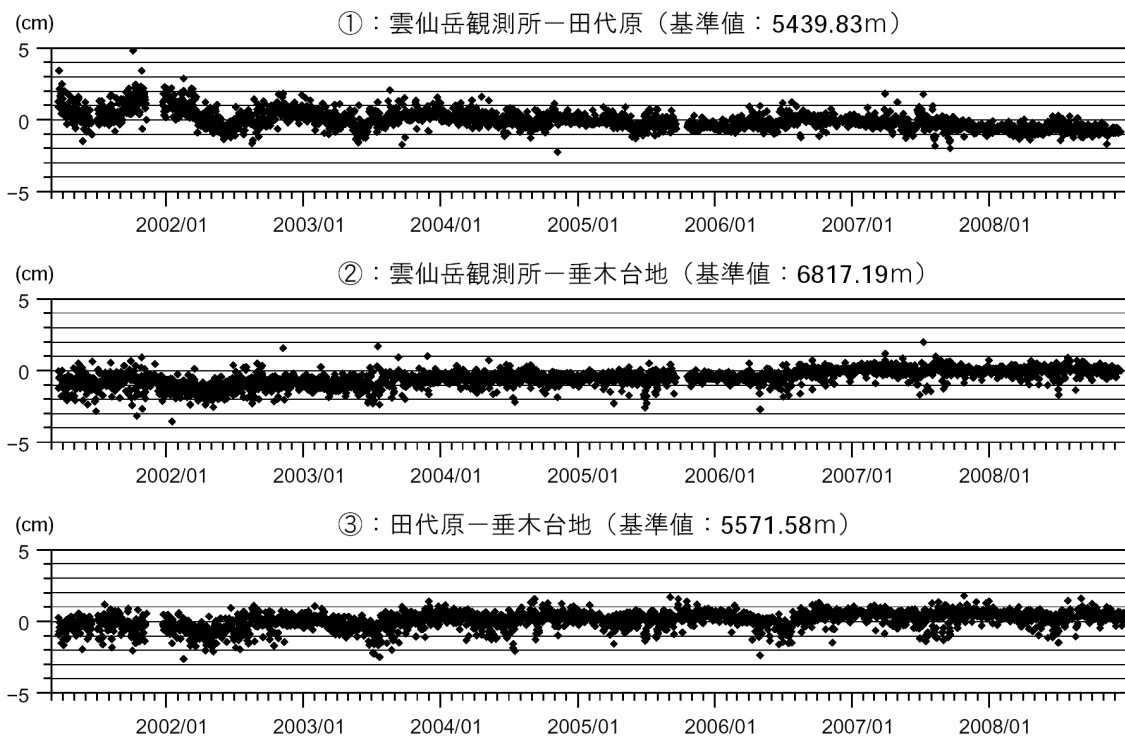


図3 雲仙岳 GPSによる基線長変化(2001年3月19日~2008年12月31日)

各観測点間の基線長には、火山活動に起因する変化はありませんでした。

この基線は、図7の ~ に対応しています。

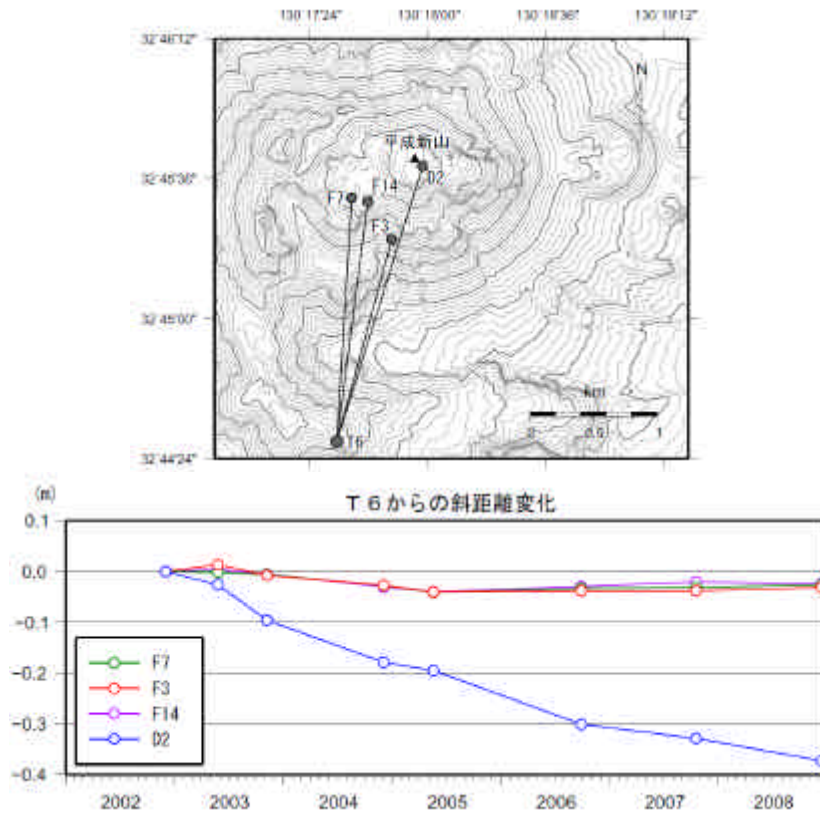


図4 雲仙岳 光波測距観測 (2002年12月~2008年12月)
D2観測点の変化は溶岩ドームが自重により沈降しているものと考えられます。

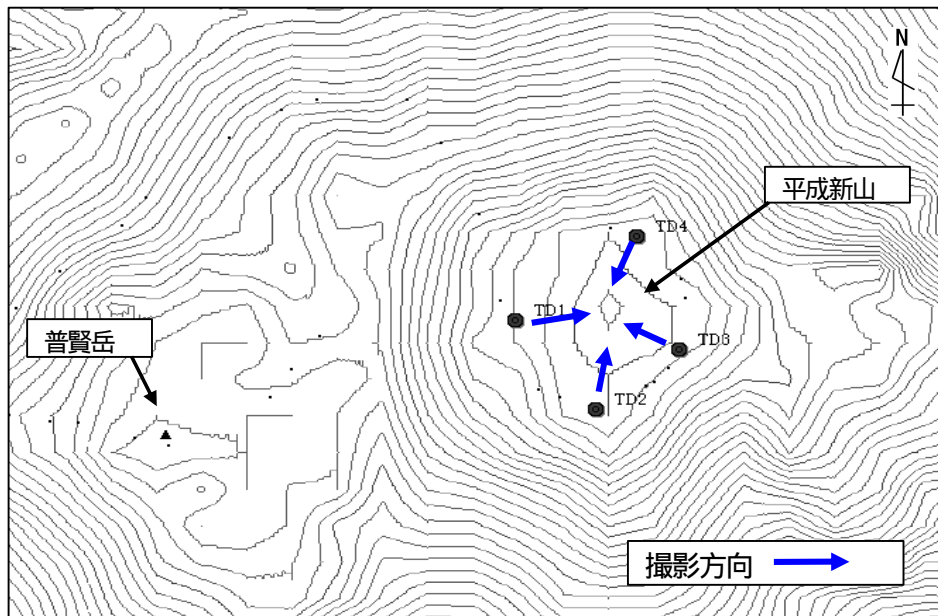
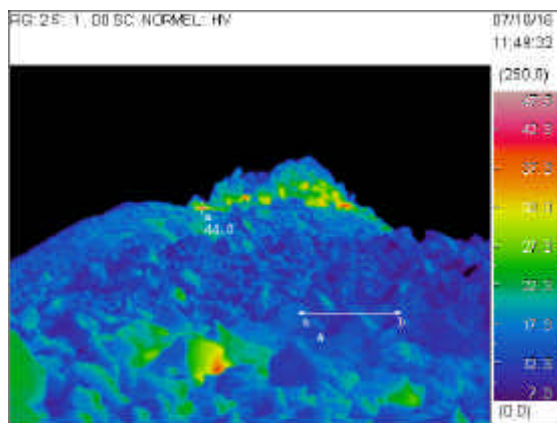
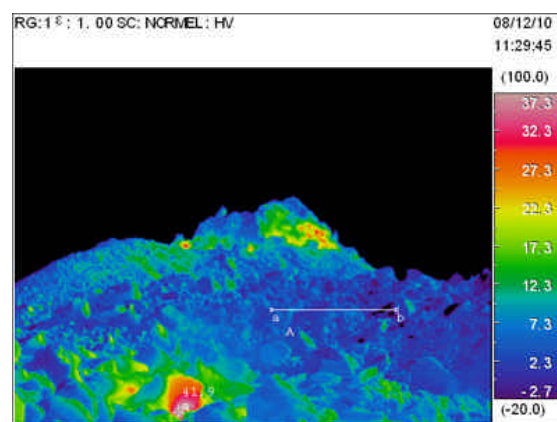


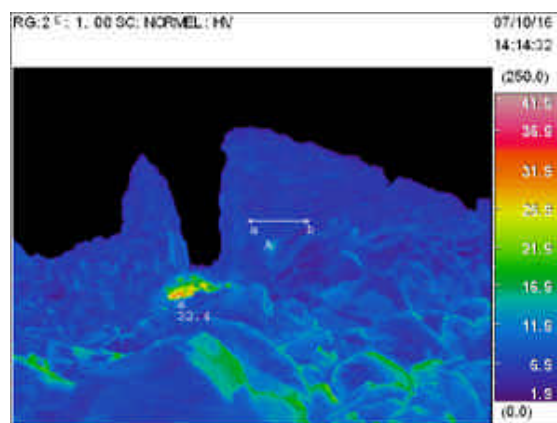
図5 雲仙岳 赤外熱映像観測点位置図(TD1~TD4)



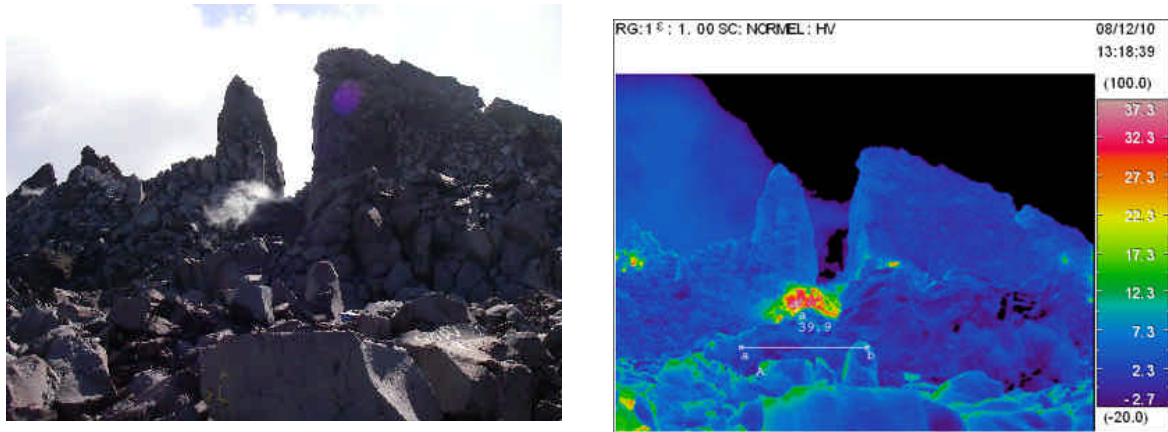
TD1 可視画像と赤外画像 2007年10月16日



TD1 可視画像と赤外画像 2008年12月10日



TD3 可視画像と赤外画像 2007年10月16日



TD3 可視画像と赤外画像 2008 年 12 月 10 日

図6 雲仙岳 平成新山 可視画像と熱画像 (2007 年 10 月 16 日と 2008 年 12 月 10 日の比較)

赤外熱映像装置¹⁾による観測では平成新山山頂(溶岩ドーム)の熱異常域の分布に大きな変化はありませんでした。

熱画像の温度表示レンジは高温域ではない領域の平均温度(ラインA)で調整しています。

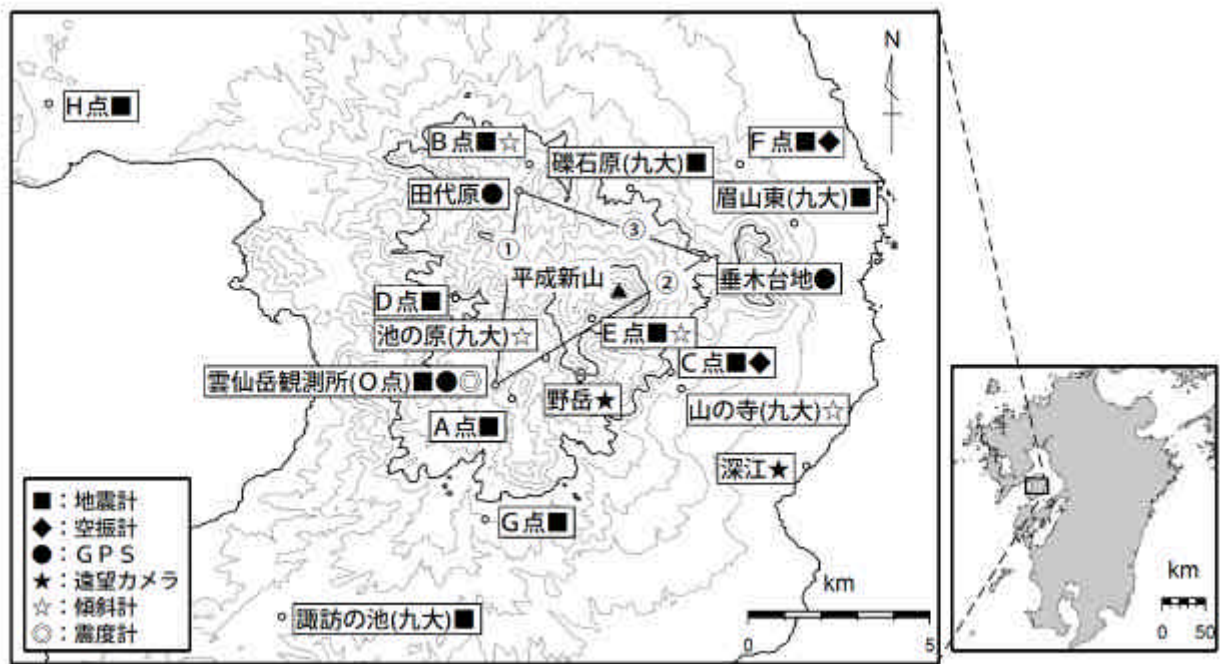


図7 雲仙岳 観測点位置図

表 2 雲仙岳 気象庁常時観測点一覧

観測点	観測項目	緯度	経度	標高(m)	備考
雲仙岳特別地域 気象観測所	地震計・震度計	32 44.3	130 15.8	678	雲仙岳観測所(Unzendake WS)
A点	地震計	32 44.1	130 16.1	769	矢岳(Yadake) 基準観測点
B点	地震計・傾斜計	32 47.6	130 16.4	655	鳥甲山(Torikabuto)
C点	地震計・空振計	32 44.5	130 18.9	400	岩床山(Iwatokoyama)
D点	地震計	32 45.6	130 15.1	420	上岳(Kamitake)
E点	地震計・傾斜計	32 45.3	130 17.5	1075	薊谷(Azamidani)
F点	地震計・空振計	32 47.6	130 20.1	185	杉谷(Sugitani)
G点	地震計	32 42.3	130 15.6	400	慈恩寺(Jionji)
H点	地震計	32 48.5	130 07.9	66	森山町(Moriyamayou)
雲仙岳特別地域 気象観測所	GPS	32 44.3	130 15.8	678	雲仙岳観測所(Unzendake WS) 2周波 2001.3 観測開始
垂木台地	GPS	32 46.2	130 19.5	586	垂木台地(Tarukidaiichi) 2001.3 観測開始
田代原	GPS	32 47.2	130 16.2	640	田代原(Tashi robaru) 2001.3 観測開始
野岳	遠望カメラ	32 44.5	130 17.3	1142	野岳(Nodake) 超高感度カメラ 2002.1 観測開始
深江	遠望カメラ	32 43.1	130 21.3	15	深江(Fukae)